

令和元年度 学校関係者評価報告書

学校名：名古屋外語・ホテル・ブライダル専門学校

1 学校目標

- ・本学園の建学の精神である、社会から喜ばれる知識と技術を持ち、歓迎される人柄を兼ね備えた人材を育成し、科学技術・文化の発展に貢献する。
- ・知識・技術といった学生個々の能力を引き上げると共に、品格とホスピタリティ精神を兼ね備えた魅力ある人材を育成する。
- ・「夢をかたちに」を実現する。

学校目標に対する評価・意見

- ・社会から喜ばれる人材を育成するというコンセプト（建学の精神）に共感。コロナ禍においても高い就職内定率を残している現状に驚いている。
- ・規律正しい指導は他校にはない特徴。社会人として最も必要な事である為、引き続き強化されると良い。
- ・挨拶が大変素晴らしく、モチベーションの高い生徒が多い。学業に対する熱意が感じられる。
- ・担任が毎日、学生と接していることは非常に良いことであり、ぜひ継続していただきたい。
- ・是非、目標に掲げている通り、学生1人ひとりの「夢をかたちに」なるよう育成して頂きたい。
- ・時代の変化の中で、今後ゼネラリスト、スペシャリストという考え方も取り込んでみてはどうか。

2 学校自己評価報告書について

学校自己評価報告書基準	学校自己評価報告書についての評価点の平均（4段階で評価）		
	自己評価の結果が適切か	改善に向けた取組みが適切か	今後の改善方策が適切か
基準1（教育理念・目標）	4	4	4
基準2（学校運営）	3.7	3.8	3.8
基準3（教育活動）	4	3.8	3.8
基準4（学修成果）	3.8	3.7	3.8
基準5（学生支援）	3.8	3.8	4
基準6（教育環境）	4	4	4
基準7（学生の受入れ募集）	4	4	4
基準8（財務）	4	4	4
基準9（法令等の遵守）	4	4	4
基準10（社会貢献・地域貢献）	3.8	3.8	3.8
基準11（国際交流）	3.8	3.7	3.5

3 今後の改善意見

- ・コロナ禍の現状で、今のように集合研修・対面授業を継続することは非常に難しいと考えられる為、早急に遠隔授業体制を整えられる必要があると感じる。
- ・コロナ禍で、企業から求められる能力も少なからず変化してきている為、学生への教育もニーズに合わせた形を検討しても良いと思う。
- ・コロナ禍において、学校側からのしっかりとした説明が学生達の不安な心情を取り除き、今後の学校活動や学習面の向上にも繋がっていくのではないかと感じる。
- ・企業の新入社員にも明らかにサービス業に不向きな者がいる。入学希望があり「来るもの拒まず」という考えもあるが、選考時の適正の見極めが重要。
- ・経営なので、より多くの学生を入学させる必要があるが、定員が有るという事は、より良い適正な授業を実施する人数なのかと思う。
- ・ブライダル科への男子学生の拡充をお願いしたい。

4 今後の具体的な改善方策

- ・データ通信が個人負担になるところへ、学生一律月額5,000円の補助金等をつける。
- ・オンデマンド、ライブ配信、ZOOM等での個別対応等、新しい形の授業・指導・評価方法の形成に早急に取り組む準備を始めたい。
- ・文書能力の向上、まとめて話す力等、「伝える力」を向上させる学習の改善。
- ・コンピュータ演習において、EXCEL・WORDの学習カリキュラムに加え、プレゼンテーション能力向上のためにPower Pointの演習の時間も増やしたい。
- ・昨今の若年層に多い対人関係・環境による退職を避ける為、メンタルヘルスを含むストレス耐性を高める知識や訓練の時間を増やしたい。
- ・より良い人材を輩出する為、更なる「選考の質」の底上げをしたい。